

競 技 注 意 事 項

1.規則について

本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会の申し合わせ事項による。

2.練習について

競技の練習は、補助競技場及び投てき競技場で行うこと。

特に投擲練習については、監督の付き添いのもと危険防止に努めること。

本競技場での練習については、競技役員の指示に従い行うことができる。

3. 招集について (招集場所はすべて第4ゲート裏とする。)

- ① 第1コールは、不参加および棄権がある場合のみ、所属団体別に代表者が各種目の競技開始1時間前までにTIC (第4ゲート裏) へ届け出ること。
- ② 第2コール (最終コール) の時刻には選手本人は招集場所に待機し、アスリートビブスを見せ確認を受ける。コールに遅れた者は棄権とみなす。
招集終了後は出発場所に各自で移動すること (誘導は行わない)
- ③ 代理人による招集は認めない。ただし、同時刻に2種目以上の競技に出場する者や競技時間と招集時間が重なる者はあらかじめ、TIC (第4ゲート裏) に多種目同時届を提出すること。この場合、早く開始される競技の招集は決められた時間に行い、多種目同時であることを招集場所の競技者係へ申し出ること。

競技種目	招集完了時刻
トラック競技	15分前
フィールド競技	30分前 (棒高は100分前)

※ 招集開始、完了時刻はタイムテーブル記載の時間で行う。

4. アスリートビブスについて

出場選手は、アスリートビブスを胸背部につける。なお走幅跳・走高跳は胸背部のいずれか一方だけでもよい。

腰ナンバーは小学生と800m、5000mWのみスタート場所で受け取り両腰横につける。

5. 競技について

- ①トラック競技は全て写真判定 (全自動電気計時装置) を使用する。
- ②ハードル種目以外はスタート前はブロックセットのみとする
(スタート練習は行わない)
- ③800mは男子1、2組のみセパレートスタートとし、他はグループスタートで行う。
- ③走幅跳・三段跳は3回試技のみ。

6. 使用器具について

競技場備え付けのものを使用する。但し、やりについては規定のものであれば使用してもよいが、競技開始前に現場で検定を行うので申し出ること。

7. その他

①スパイクのピンの長さは、9mm以下、フィールドの走高跳・やり投げのみ12mm以下とする。

②競技用靴については、トラックのみWA改訂規則を適用する。

ただし、小学生には適用しない。

③競技進行をスムーズに行うため、トラック競技における選手紹介のアナウンスは行わない。また、スタート準備においても前組がスタート後、速やかに行うこと。

④競技結果については熊本陸協ホームページに掲載する。URL <http://kumariku.com>

⑤競技場・駐車場の開門時間は7:00からとする。また、競技場周りは駐車禁止とし、駐車は役員は投てき場横調整池を使用すること。

(弁当のヒライ側、墓地横から出入りすること)

大型バス、マイクロバスは第3ゲート後、陸上競技専用駐車場に駐車をお願いします。

役員以外は運動公園一般駐車場に駐車をお願いします。

一般注意事項

(1) エレベーターの使用については、競技運営上支障が生じるので競技役員以外の使用はできません。

また、7階のトイレ使用は7階の競技役員のみとし一般の使用は禁止する。

(2) 競技者以外、トラック周囲への立ち入りは禁止する。

(3) 応急手当を要する場合、及びその他の健康上の問題が生じた場合は競技役員に申し出て、医務室を利用することができる。

(4) 競技場内での疾病、傷害については応急手当のみを行い、以後、各参加校の責任において処置すること。

(5) すべての応援はスタンドで行うこと。また、スタンドにおける集団は禁止する。

(6) 個人情報本大会活動に利用するものとしこれ以外の目的に利用することはありません。

① 大会プログラム掲載

② 電光掲示板・掲示板等への掲載

③ 競技結果の報道機関・報告書等への掲載

④ 報道機関が撮影した写真・映像の公開